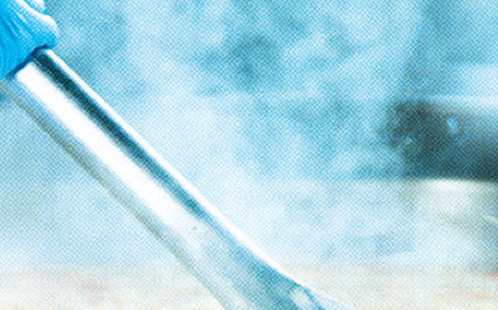
酷暑日なんて、いつものことよ。

給食センターの暑熱対策に。エアホワイト

2026年4月、最高気温が40度以上の日の名称が「酷暑日」と定められた。より一層、労働現場の暑熱対策が求められる。中でも給食センターの暑さは深刻な課題であった。異物混入を防ぐため窓は閉めきり、沸騰した大鍋をかき回す。調理員にとって、現場はまるで毎日が酷暑日だった。そこでミドリ安全は食品工場向けクールファンベスト「エアホワイト」を開発。白衣の上に着るだけで空気の流れをコントロールし、作業をより快適に。バッテリーは調理の邪魔にならない腰側密着で、メッシュカバーでファンの落下を防ぐ、食品工場に合わせた仕様だ。子どもたちを笑顔にする給食を作る人も、どうか笑顔で働いてほしいから。ミドリ安全は、日本の食の安全にも貢献する。



暑熱対策は、

安全にイノベーションを
ミドリ安全

ミドリ安全は、7月15日～17日に東京ビッグサイトでの「労働安全衛生展」に出展します。